

# 特定非営利活動法人 北海道NPO越智基金

## 2003年度事業活動報告書及び2004年度事業活動計画

(2003年10月1日～2004年9月30日)

### 2003年度事業活動報告(2003年10月1日～2004年9月30日)

1. NPOへの助成金配分事業を、NPO推進北海道会議・北海道NPOサポートセンターと連携をとりながら行いました。

7月23日の理事会で今年度の助成を決定しました。昨年の51件に引き続き63件と過去最多の応募がありました。

NPO および NPO を目指しうるような社会的広がりを持った自発的な市民活動(分野については NPO 法の17分野を参考にして下さい)を支援するのが基金の目的です。7名の理事がそれぞれの基準で予め選び、その結果を持ち寄って検討しました。評価基準は以下のように纏められます。まず、公益的性格、つまり社会的広がりの程度が重要な評価基準です。次いで先駆的な問題提起をしている場合。これは立ち上げ支援になりましょう。それと、計画の具体性です。狙いはよさそうでも、具体的な使用目的がはっきりしないため、残念ながら選に漏れた例もありました。使用目的をできるだけはっきりさせ(活動目的、活動内容、活動予算を分かりやすく書いて下さい)、助成金が何に使われるか具体的に書いて頂くと選びやすくなると思います。

ここ数年基金を取り崩しつつ助成をすすめており、基金自体の積み増しの努力も必要になっているのが実情です。

2. NPOへの助成に関する調査研究は実施に至りませんでした。

3. 個人ファンドを含め基金の原資を増やす活動を行いました。

4. 認定NPO法人申請について、国税局に相談した段階で認定要件を満たさないことが判明し、申請に至りませんでした。

5. 以下の事業・活動を行いました。

- 1) 中央区まちづくり団体活動奨励金を得てシュレッダーを購入、パンフ作成
- 2) すくすく・いきいきファミリーフェスタinちゅうおうへの出展参加(2004年9月25日)

2004年 NPO越智基金助成金 助成団体一覧

NO	団体名	NPO 法人格	代表者	申請者	〒	住所	助成金の使途	2004
1	特定非営利活動法人 ぶらいもほっと		杉岡俊彦	西久喜	069-0801	江別市中央町24番地の 1	・福祉機器の修理のために 使う工具類及び資材の購入 ・インターネット開設の一部	100,000
2	札幌学院大学バリア フリー委員会		宮町悦信	宮町悦信	069-8555	江別市文京台11番地	・講演会・研修会参加のため の遠征費 (ろう学生の集い、重複障害 教育研究会、全道ろうあ者 大会)	80,000
3	特定非営利活動法人 PCNET		高橋貴明	高橋貴明	064-0805	札幌市中央区南5条西 11丁目	・運営費の一部	100,000
4	北海道セクシャル・マ イノリティ協会(HSA) 札幌ミーティング		河中優郁子	鈴木ケン	060-0062	札幌市中央区南2条西5 丁目 札幌25 411 号室	・「性教育プロジェクト」の事 業費	100,000
5	白老町手をつなぐ育 成会		片山のぶ子	片山のぶ子	059-0922	白老郡白老町字荻野 426-2	・「文化を通して障がい者を 理解してもらおう」講演会や映 画上映経費の一部(入場料 を1000円程度にしたい)	30,000
6	NPO団体ファミリーサ ポート・南宗センター		伊藤真由美	棟方美咲恵	098-5723	枝幸郡兵頭町南1条3 丁目	・家賃負担の軽減 ・立ち上げにかかる備品・事 務経費など	100,000
7	特定非営利活動法人 ジョインズ		清水聖一	清水聖一	078-8347	旭川市東光7条3丁目2 番9号	・講演会活動の実施	30,000
8	特定非営利活動法人 上富良野たんぽぽの 会		久我みち子	三島和子	071-0551	空知郡上富良野町本町 4丁目6番33号	・事業活動費用(会員の資 質向上研修開催費用、活動 紹介、会員募集のパンフレッ ト作成費用)	100,000
9	特定非営利活動法人 びえいぐらしの助けあ い		井内昭子	野上好	071-0202	上川郡美瑛町南町1丁 目5番5号	・高齢者等の暮らし支援事 業や子育ての支援活動の 従事者の研修会開催経費 の一部 ・子育て支援活動パンフレッ ト作成費	100,000
10	NPO法人ブレイル サービス		谷口真理子	高橋由和	004-0022	札幌市厚別区厚別南5 丁目4番地48号	・情報誌の発行経費(毎月無 料配布している)	100,000
11	特定非営利活動法人 北海道職人義塾大學 校		佐々木徹	藤田和久	047-0015	小樽市住吉町14番4号	・第1回キッズベンチャー全 国大会(05.1)の開催経費の 一部(対象が児童のため参 加費を無料か安価にしたい ので)	50,000
12	旭川失語症友の会		深野弘	鶴間貞子	070-0038	旭川市8条通9丁目左10 号	・患者のリハビリの運動用 具、簡単な楽器の購入 ・医師及び講師の謝礼 ・全国失語症友の会参考書 購入(患者・家族に支給)	30,000
13	特定非営利活動法人 旅とびあ北海道		下間啓子	下間啓子	078-8330	旭川市宮下通23丁目6 番地157号	・支援費事業運営に係わる スタッフ研修会(年5回)の講 師謝礼、資料購入費用の一 部	50,000
14	道はだれのもの?札 幌21		大場邦夫	秋山真澄	063-0012	札幌市西区福井3丁目 5-2 大場様方	・都心部(駅前通りや道警周 辺含む)の自転車走行空間 についての実態調査費用の 一部 ・他都市から招く予定の学習 会の講師の交通費	100,000
15	ウヨロ環境トラスト		新岡幸一	河野功	059-0902	白老郡白老町若草町1- 11-7 河野功様方	・トラスト地内の駐車場まで の取付道路に砂利を入れる 経費(一般車両が天候問わ ず入れるようになる)	100,000
16	特定非営利活動法人 夢の樹オホーツク		小瀬敏幸	平賀貴幸	099-2421	網走市字呼人331-1	・コミュニティ喫茶店の運営 経費 (ボランティア・実習するチャ レンジの交通費)	100,000

17	特定非営利活動法人 いきいき生活支援夢 といろ		麻生和子	川田美紀	089 - 1341	河西郡中札内村東1条 南2丁目9番地	・外部講師を招いた自主研 修会運営費 ・外部団体主催の研修会参 加経費の一部	50,000
18	ezorock		高橋美衣	高橋美衣	060 - 0005	札幌市中央区北5条西6 丁目2 札通ビル8階	・事務所費の一部	100,000
19	特定非営利活動法人 市民と共に創るホスピ スケアの会		松本克弘	提箸秀典	060 - 0061	札幌市中央区南1条西 16丁目1-245 レーベン ビル3階	・ホスピスケア市民講座の広 報費の一部	100,000
20	ホウシ NPO法人レッドリボン サッポロ 札幌		宮内典子	小室静香	003 - 0801	札幌市白石区菊水1条1 丁目3-18	・低予算で引き受けているエ イズ子防犯発達の環の一環で ある講演活動の経費の一部	50,000
21	北海道高次脳機能障 がい者を支援する会 Re~らぶ		東藤れい子	東藤れい子	003 - 0025	札幌市白石区本郷通8 丁目7-18	・紡ぎ車 卓上ばたの購入	100,000
22	特定非営利活動法人 エスニコ		芦田科子	芦田科子	006 - 0042	札幌市中央区大通西16 丁目1-13 丸いほくビル2 階	資料コピー代 参考図書購入費 会議の成果をまとめる費用	50,000
23	特定非営利活動法人 ステップバイステップ		萩原富美子	萩原富美子	065 - 0017	札幌市東区北18条東7 丁目2-20	・ミシンの購入	30,000
24	特定非営利活動法人 旭川NPOサポートセン ター		近藤啓子	森田裕子	070 - 0032	旭川市2条通8丁目 2 条ビル	・フォーラム開催のための講 師旅費と講師謝金の一部	50,000
25	きみの家ふれあい ルーム		吉澤登子	吉澤登子	080 - 0010	帯広市大通南1丁目11 番地	・介護保険適応の通所介護 施設として、リハビリ等に必 要な器具、車椅子等の完備	50,000
26	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト		三脚時子	三脚時子	088 - 1531	厚岸郡兵中町中の浜 122番地	・学生ボランティアコーデ ィネート料	50,000
27	ワーカーズコレクティ ブえこふりい「コミュニ ティ市場」実行委員会		上野千賀子	上野千賀子	003 - 0025	札幌市白石区本郷通6 丁目北1-23	・2月実施予定のコミュニ ティシジャン(市場)開催の会場 費、広報費の一部	50,000
28	リサイクルショップ Samasama		濱弘美	山田澄子	065 - 0014	札幌市東区北14条東14 丁目1-17	・WEショップとしての立ち上 げ経費 (WEショップは神奈川県に 53店舗ある)	50,000
総 額								2,000,000

### 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 北海道NPO越智基金

2004年9月30日現在

資産の部			負債及び正味財産の部		
資産の部 流動資産 現金・預金	10,000,055		負債の部 流動負債		
流動資産合計	10,000,055	10,000,055	流動負債合計		0
固定資産 出資金	5,000,000		負債合計		0
			正味財産の部 正味財産 その他正味財産 次期繰越資金	5,000,000 10,000,055	
固定資産合計	5,000,000	5,000,000	正味財産合計	15,000,055	15,000,055
資産合計		15,000,055	負債及び正味財産合計		15,000,055

そのほかの事業に関わる事業会計該当なし

### 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自2003年月10月1日 至2004年9月30日

特定非営利活動法人 北海道NPO越智基金

	科目	予算	決算	差異	
経常収入	寄付金収入	1,000,000	601,572	398,428	
	助成金収入	50,000	50,000	0	
	その他収入	20,000	97	19,903	
	合計	1,070,000	651,669	418,331	
経常支出	1 事業費	助成金支出	2,300,000	2,200,072	99,928
		出資金支出		0	0
	2 管理費	事務費	20,000	0	20,000
		合計	2,320,000	2,200,072	119,928
		当期収支差額	-1,250,000	-1,548,403	298,403
		前期繰越収支差額	11,548,458	11,548,458	0
		次期繰越収支差額	10,298,458	10,000,055	298,403

1 資金の範囲は、現金預金です。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりです。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	11,548,458	10,000,055
次期繰越収支差額	11,548,458	10,000,055

## 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 北海道NPO越智基金

2004年9月30日現在

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現 金	0		
普 通 預 金 北海道労働金庫 本店	10,000,055		
流動資産合計		10,000,055	
2 固定資産			
出 資 金 NPOバンク	5,000,000		
固定資産合計		5,000,000	
資産合計			15,000,055
負債の部			
1 流動負債		0	
2 固定負債		0	
負債合計			0
正味財産			15,000,055

その他事業に係る財産目録該当なし

### 会計監査報告

監査を実施した結果、財務諸表は適正に処理されていることを認めます。

2004年10月19日

監事 田淵 直子

## 2004年度 事業活動計画及び収支予算案（2004年10月1日～2005年9月30日）

1. NPOへの助成金配分事業を行います。

今年度も、昨年度に引き続き、NPO法人、市民活動団体への幅広い助成を実施します。

2. NPOへの助成に関する調査研究を行います。

個人からのファンド提供システムを調査研究し、できるところから実行に移します。

3. 個人ファンドを含め基金の原資を増やす活動を行います。

4. 寄付要請パンフ作成します。

越智基金の沿革のところの説明されているように、この基金は越智さんという個人が寄付して下さったものです。中元、歳暮は営業活動には欠かせないと思っている人も、くだらない習慣だと思っている人も、われわれの周りにはかなりなじみの贈答という行為が単なる商品交換、売買とはひと味違った人と人とのつながりを生み出すような気がしているのではないのでしょうか。経済人類学の知見では商品売買、市場が出現するまでは贈答が物流の重要な方法であっただけでなく、市場原理ではまかり通る富の蓄積や吝嗇がそこでは押さえられていたそうです。アメリカ大陸の太平洋岸に昔から住んでいた人たちの間でみられた「ポトラッチ」はその好例とされます。贈り物は豊穰と成長を促すものと考えられていたようで、芸術家の中にはそこにエロティックなものを感じる人もいます。

ところで、B.マリノフスキ - が第一次世界大戦中に南大平洋のトロブリアンド諸島で調査して有名になった「クラ」は贈答を伴った交易の長い連鎖でした。複数の人の手を次から次へわたるもので、その点、一対一の互酬とは異なります。対面的贈答関係でない「クラ」においては通貨の原形とみなされがちな子安貝は個人の懐に留まって蓄積されてはならないことになっていたそうです。あるタイプのエコ・マネーに似ていますね。

二者関係に留まる互酬から贈答の連鎖をへて、贈答の相手を個人的にも、連鎖的にも特定しない積み立て方式が出来上がってくると「社会」の名に値する人間関係が生まれる、というのが阿部謹也説です。中世ヨーロッパではキリスト教会が果たした積み立て方式の拠点の役割を21世紀北海道のNPOの世界では越智基金が果たしていることになりましょう。どんどん使い、どんどん寄付を受けることでこの基金を広くまわして行きたいと念じています。互酬でも市場でもない不思議な世界こそ人間社会の生命の源泉なのかも知れません。日本にも「金は天下の回りもの」とか「情けはひとの為ならず」とかいうこれに類した考え方が生きてきたわけですから、こうした基金を社会の生命のもととして大事にしてゆく必要があるのではないのでしょうか。

## 2004年度収支予算(特定非営利事業分)

2004年度特定非営利活動に係る収支予算書  
(2004年10月1日から2005年9月30日まで)

単位 円

科目	予算額	備考
収入の部		
1 寄付金収入	1,000,000	篤志家等より
2 その他収入	20,000	受取利息他
収入合計	1,020,000	
支出の部		
1 事業費	2,000,000	助成金支出
2 管理費	20,000	事務委託料
支出合計	2,020,000	
当期収支差額	-1,000,000	
前期繰越収支差額	10,000,055	
次期繰越収支差額	9,000,055	

その他事業に係わる収支予算書

該当なし